



こうほう

— 新春特集号 —



DENNET

デンネット“DENNET”は電気（Denki）工
事業で固く結ばれた協同集団（Network）
を意味して造られた組合の略称です。

第 154 号

令和4年（2022年）1月1日

石川県電気工事工業組合

見上げれば満天の星。 能登町で出会える夜の絶景

能登町やなぎだ植物公園の敷地内にあるアストロコテージ。
天体観測ドームを備えた3棟と、小型望遠鏡が付いた3棟があります。
「アルタイル」や「ベガ」などそれぞれに1等星の名前がつけられたコテージ
は星形の屋根が特徴的、最大10名様まで宿泊できるので家族や友達と賑やかに過ごせます。

夜は気の向くままにゆったりと星空観察を満喫、日中は近くの施設「満天星」
で宇宙の神秘に触れたり自然豊かなやなぎだ植物公園でグランドゴルフやBBQ
をしたり、さまざまな楽しみが出来るのも魅力的です。

満天星ではプラネタリウムや天体観望会などもあります。

目 次

| | |
|-----------------|----|
| 年頭のごあいさつ | 1 |
| ことしの“誓い”「年男は語る」 | 7 |
| 各賞受賞者 | 11 |
| 各本部だより | 14 |
| 青年部だより | 18 |
| 各本部青年部だより | 19 |
| 第34回 電気工事業全国大会 | 21 |
| 新加入組合員の紹介 | 23 |
| 組合事務局日誌 | 26 |
| 組合HPリニューアル | |



第4回電気工事技能競技 全国大会の開催について

理事長 米 沢 寛



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはおそろいで健やかな新年をお迎えになられたことと存じます。

昨年は新型コロナの発生で我が国にとどまらず、世界中が感染防止に翻弄され近年にないあわただしい年となりました。

コロナが収束しないことから第4回電気工事技能競技全国大会も苦渋の決断の結果、大会の中止や先送りされるという厳しい一年でした。

本大会は電気工事業界の技術向上にとどまらず、広く社会に電気工事業界を認識いただくためより一層「顔の見える業界」をめざそうとするものです。

第4回目を迎える今年は、日頃からご指導をいただき経済産業省・国土交通省・文部科学省をはじめ公益社団法人全国工業高等学校長協会などの後援をいただき、回数を重ねるたび開催趣旨が各方面に広く理解されつつあることは誠に喜ばしい限りです。

特に「一般の部」ではこれまで全国各地からすべての加盟員の代表が参加できる大会を望んできましたがようやく実現の運びとなりました。また「女性の部」には全国9ブロックの代表選手が参加できることになりました。これで文字通り、男女共同参画社会の実現に寄与できます。

また、業界の将来を見込んで次代を担う「高校

生の部」でも、これまでの5名から9名に代表選手の出場枠が拡大され、バージョンアップされることになりました。電気工事業界の将来を担う、人材確保および実業教育の振興を目指す開催目的に大きく近づきました。

いずれも白熱したハイレベルな大会となるものと大きな期待が寄せられています

これまで出場選手のアンケートから「大変意義のある大会である」、「出場して誇りを感じた」などといった回答が多く寄せられ、見学者からは「自分も大会に参加したい」との声が寄せられ、一日も早くすべての電工組からの参加が望まれてきました

今回ようやく念願がかない全国各地の代表が一堂にそろって大会となりました。わが国の電気工事業界の技能の向上と発展につながることを期待しています。

また、出場選手の増加から会場もこれまでの東京・両国国技館から横浜アリーナに会場が移されます。新しい会場での電気工事技能競技全国大会の開催、「見られることで 技術も磨かれる」我が国の電気工事の技能のレベルアップにつながるにふさわしい大会となることを期待したいと思います。

今年も皆様におかれましては一層のご活躍とご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。





新年を迎えて

北陸電力株式会社
執行役員 石川支店長

東 田 隆 一



新年明けましておめでとうございます。

石川県電気工事工業組合の会員の皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当社グループの事業運営に格別のご理解をいただき、電力の安定供給にご尽力いただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界的なコロナ禍により、2年近くにわたり、経済活動、生活が大きく制約されてきました。在宅勤務、リモート会議、出張ができないなど不自由な状況が続く中で、秋からは小康状態に入りましたが、新たなコロナ株も世界に拡がりつつあり、第6波に向けて、今一度、気を引き締める必要があるかと思えます。一方で、夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本人選手も活躍し、「(コロナの中でも) やればできる」という前向きな自信も感じたところです。

さて、東日本大震災以降10年以上にわたり停止が続き、ご心配をおかけしている志賀原子力発電所について、これまで16回の審査会合が開かれ、調査結果やデータをお示しし、敷地内の断層は活断層ではないことを国に説明してまいりました。昨年11月には、規制委員会の現地調査があり、これまで説明してきました実際の断層やボーリングによる地質のデータを直接確認していただきました。現地調査というプロセスは断層問題の解決に向けて大きく前進したものと考えており、今後も丁寧に説明し早期の再稼働を目指してまいります。

カーボンニュートラルについては、当社は、昨年4月に、2050年に向けたロードマップを公表しました。2030年に発電に占める非化石電源比率を50%以上とする目標を立て、設備改修による水力発電量の増加や石炭火力におけるバイオマス混焼増加など再生可能エネルギーの導入拡大を進めるとともに、志賀原子力の早期再稼働により脱炭素化を進めてまいります。

また、電源だけでなくエネルギーを使用されるお客さまの電化へのニーズにお応えするため、省エネルギーコンサル、太陽光発電の第3者所有設置やEVの導入など省CO₂コンサル、再エネ料金メニューのアクアECOプランの提案など新たなサービスも展開しているところです。自治体においては、カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギーの活用推進、送配電株式会社と連携した災害時の停電復旧や防災への対応など地域の課題解決に重点的に取り組んでまいります。

事業環境の変化が加速する中、「電力を安定的にお届けする」「地域の発展に貢献する」という北陸電力グループの変わらぬ使命を、グループ一体となって果たしてまいります。

貴組合の皆様には、これまでと変わらず、お客さまと当社を結ぶ大切なパートナーとしてご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴組合の益々のご発展と、組合員、従業員ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

北陸電力送配電株式会社
執行役員 石川支社長

木村博喜



謹んで新春をお祝い申し上げます。

石川県電気工事工業組合の会員の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当社の事業運営につきまして、格段のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、年始早々の寒波等により、全国的に電力需給が逼迫する事態となりましたが、国・電力広域的運営推進機関・一般送配電会社各社が全国大で連携し、需給不均衡是正に向けた調整力の確保に奔走した結果、大規模停電をなんとか回避したという状況でありました。

また、大雪が続いたことにより、北陸管内では倒木による設備被害が多発し、特に奥能登地区においては、貴組合の皆様にも連日にわたり復旧作業にご尽力いただきました。電力の安定供給には、貴組合の皆様のご協力をはじめ、業界全体の力で成り立っていることを改めて確認したところがあります。また、新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、未だに終息の見通しがたっていない状況ですが、貴組合の皆様には、感染予防に万全を期して作業いただきましたことに感謝と敬意を表します。

さて、当社は一昨年4月より北陸電力送配電として分社しましたが、新体制におきましても災害時には早期復旧を果たすため、現在、北陸電力とともに各自治体と災害時の連携に関する協定について協議を進めております。地域の生活・発展を支えるライフラインを守る事業者として、皆様とともに引き続き電力の安定供給、設備保全に努めてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

電気事業をめぐる情勢としましては、2023年より託送料金の新たな制度として『レベニューキャップ制度』が導入されます。高経年設備の対策工事も新制度における重要項目の一つとされており、事業計画に合わせて工事を確実に完了させていく必要があります。年々増加傾向にある更新物量を確実に進捗させるべく、貴組合の皆様と協力し、計画的かつ効率的に工事を進めてまいりたいと考えております。

次に、作業安全についてですが、至近年の労働災害の傾向として、基本ルールや作業手順の不遵守が見受けられ、その中には過去に発生した事案と類似のものも散見されています。また、作業中、違和感を覚えたにも係わらず作業を継続した結果、災害に至ったケースが複数事案発生しました。昨年はこれらの背後要因を取り除く職場環境を醸成する観点から、『ありがとうその気づき』のスローガンに以下のフレーズを追加して進化させました。

『リスクがないか考えて、その気づきを大切に、立ち止まって伝えよう』

違和感を覚えた場合はリスクのシグナルと捉え、その感受性を大切にいただき、躊躇せず一旦作業を止め、その気づきを当社と共有していただくようお願いします。新しい年は皆様とともに思いを一つにして『労働災害撲滅』を目指してまいりたいと思います。

最後になりましたが、本年も安全活動の推進と施工品質の向上を積極的に展開していただき、貴組合の益々のご発展と、組合員、従業員ならびにご家族皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

副理事長兼
理事長代行兼
加南本部長
(配電担当)

今 出 真 稔



新年明けましておめでとうございます。

組合員のみなさま方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和4年の年頭にあたり、皆さまに一言御挨拶申し上げます。

一昨年来の新型コロナウイルス感染拡大による社会の混乱もワクチン接種の効果もあってか収束の兆しが見え始めてきました。コロナ禍には様々な行事イベントの中止や延期が余儀なくされる中で、組合事業活動においても例外ではなく、計画変更が多々ありました。こうした時期に東京オリンピック・パラリンピックが種々の行動制限を伴いながらも盛大に開催され多くの感動を与えてくれたことも明るい兆しに感じた次第でございます。

配電工事では、将来の北陸電力送配電㈱からの発注量は不透明な状況にあります。しかしながらライフラインを支える我々の使命は揺らぐことはなく、施工品質・生産性の向上、配電工事従事者の人財確保に努めつつ、設備投資も継続し、より強靱な経営管理体制を維持していくことが不可欠ではないでしょうか。

加南本部では一昨年10月に北陸電力送配電㈱から計器取次店業務を受託して計器入出庫の取扱いを開始しました。それ以後、多くの組合員の皆さまにご利用いただいております、当初の期待どおりの効果が得られたものと評価しております。

さて、今年は十干が「壬（みずのえ）」、十二支が「寅」の年にあたり、干支は「壬寅（みずのえとら）」となります。私事で恐縮ではありますが、今年が年男であります。還暦60歳を迎えることとなり一般的に一回りと言われる年齢となります。「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め新しい成長の礎となる一年。または、これから成長する物事の「象徴が生まれる（始まる）」年とされているそうでもあります。まさにコロナ禍から脱却し成長へのリスタートとするに相応しい一年であり、私自身も還暦寅年に恥じないよう単なる赤ではなく、『真っ赤な情熱と強い信念』をもって、果敢に挑戦し邁進する一年にしたいと思っております。

また、我々の電気工事作業には危険が付きものですが、今年も、今一度緊張感を持ち、基本ルールを順守しながら安全作業に努めていただきたいと思います。

私自身におきましても気を緩めることなく積極的に組合活動に取り組んで参りたいと思っております。今一度、皆さまに更なるご理解とご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も良い年となるよう、石川県電気工事工業組合員が一丸となってがんばっていきましょう。





電気工事業の働き方改革 その2

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣 健英



コロナ過も現在、日本においての感染者は減少して、大変な時期を脱出した感がありますが、ただ完全収束したわけでも無いようです。また新たな変異株が出現しました。この後も数年に渡り変異株の出現が起きるかと思えます。日本人は几帳面で国民のほとんどの人がマスクや手の消毒を行います。この簡単な事を行う事が世界の感染者数では断トツに少ない要因かと思えます。

さて、働き方改革その2です。一昨年にも働き方改革の寄稿をしました。

今年は特にこの働き方改革の講演やセミナーが県内でも頻繁に行われています。

以前、建設業は3K（きつい・汚い・危険）問題がありましたがこの3Kにプラスして新3K（給料・休日・希望）が問題になっています。建設業の3Kは解消の方策はなかなか見つかりませんが新3K問題は方策がある様に思います。

以前は4週6休が出来るかが焦点でしたが今は完全週休2日制に移行出来るかが問題になっています。

ハローワークや高校への求人を出す時に言われる事に給与は勿論ですが休日の日数の事を必ず聞かれます。今の若い世代は多少給与が減っても休

みの日が多いのを望みますからと休みばかり増やせば何時仕事をするようになります。まして冬場は暮れる時間が早く4時には真っ暗と言う事になり作業時間の工夫が必要になります。例えば就業時間が8時から5時ならば7時半から4時半にするとか冬場は終業時間を4時半にして減った分を春や秋に回す工夫が必要です。

建設業に新しい人材を確保するには建設・電気・機械が一緒になって方策を考えないと解消できる問題ではありませんが各業界で協調できるようにしたいと思います。





故上村彌壽男さんを偲んで

副理事長兼
金沢本部長
(総務担当)

柚 木 賢



新年あけましておめでとうございます。会員並びにご家族の皆様方におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて年頭のご挨拶にはふさわしいか分かりませんが、昨年2月に亡くなられた上村彌壽男前理事長との思い出をお話したいと思います。

上村さんは、金沢市立工業高校の前身である金沢市立第一工業学校電気科を卒業後、海軍に志願し特攻訓練中に終戦を迎えその後、北陸配電（現北陸電力）に入社。46年上村電建を設立し以後、平成15年に石川県知事表彰、翌16年に通産大臣表彰、平成20年には金沢市産業功労賞、同年に旭日双光章を受章され輝かしい足跡を残されました。また多趣味で粹人でもあり、俳句結社の代表も務め、小唄や能楽を楽しみ又犀川の堤防にサクラを植樹する「桜千本の会」の会長でもありました、さらにご自分の半生を綴ったエッセー「葎の髄から天覗く」なども執筆されておりまさに金沢を代表する名士でした。

初めてお会いしたのは、私が金沢本部の青年部の頃ですので25年ほど前でした。

同じ金石支部（現みなと西部支部）に所属していたこともありとてもかわいがっていただきました。初めて金沢にし茶屋街に連れて行っていただいたのもその頃でした。いつもスカットかりあげで七三に分けた髪型（自称上村カット）に背筋を伸ばしたスーツ姿は、本当に素敵でした。その反面、怒り出すと烈火のごとく怒鳴り（自称、瞬間湯沸かし器）私は幸い雷を落とされませんでした

が、何人か被害にあわれた方を目撃しております。

冒頭にも書きましたが上村さんは、私と同じ市立工業高校の大先輩にあたり創立90周年記念式典での母校愛溢れるスピーチは、とても印象深いものでした。

あのか細い体で、どこにそんなパワーがあるのかと思うくらいに仕事に組合の業務や奉仕活動に、さらにいろいろな趣味に至るまで、何事においても真直ぐに全力で取り組む姿勢は、只々頭が下がる思いでした。たぶん奥様や現上村電建社長であるご子息の和弥さん又ご家族の支えもあったからだと思います。その偉大な功績は、上村和弥さんに受け継がれていくことでしょう。

あらためて、我々の業界に多大な貢献をして頂いた諸先輩方に感謝するとともに、上村彌壽男前理事長のご冥福を祈る次第です。

最後になりますが上村前理事長葬儀の際、米沢理事長の代読ではありますが、気持ちを込めて弔辞を述べる事が出来て本当にありがたく思っております。



ことしの誓い

「年男は語る」



(敬称略)

金沢本部



立野電気工事株式会社

米澤直明

新年あけましておめでとうございます。今年も組合員の皆様の御健勝と御活躍を祈念

申し上げます。

某は壬寅生まれの還暦を迎えます。十干十二支が60年でひとまわりして今年も壬寅になります。年の数を重ねるほど時間のたつのが早く感じる、例えば60歳なら60km/hの感覚であると何方様かにお聞きしましたが真にその通り、最近時間のたつのが早いこと！還暦を機にリセットし、気持ちを入れ替えて心機一転、日々を有意義に過ごしたいと思っております。

寅と言う字は草木が伸び始める様を表しているとされており、物事の成長が期待できる年だと言われています。一昨年からのコロナ禍ですっかり沈滞したこの世の中に、新しい息吹が芽生え成長していくことを願ってやみません。

(昭和37年3月20日生 59歳)



浜田電機株式会社

濱田知明

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健康やかに新春を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

私は今年60歳になります。

あっという間ですね。20年も前なら定年ですね。働き方もすごく変わりました。

私が、仕事を始めたバブルのころは、朝早くから夜遅くまで、土日の休みもなく働いていました。その後、働き方改革で、少しづつ休みも増えゆとりが持てるようになってきました。

ゆとりと余裕は、とても大切だと最近つくづく思います。

それが、安全にも繋がり良い仕事ができます。

また、コロナ禍でいろいろな業種の方が大変な思いをされておりますが、電気工事は無くなることはありません。いろいろところで、新しい工事が出てきて、ますます忙しくなっています。ITの普及でいろいろと便利な反面、この年齢になると必死についていってますが……。

これからも私は、安全第一でゆとりを持ち、毎日楽しんで仕事することに心がけたいと思います。

皆様もゆとりをもって楽しんで仕事ができるように頑張って下さい。

(昭和37年6月2日生 59歳)

ホームページが新しくなりました

石川県電気工事工業組合

検索

<https://www.dennet.jp/>





ヒカリデンソウ
山 口 晃

新年明けましておめでとうございます。

今年で60歳になり、早いもので電気工事業に携わって30年になりました。人生山あり谷あり、軌道に乗り始めたころにはリーマンショックで仕事も減り、やっと持ち直したと思ったら今度はコロナ禍、仕事もやりづらくなり思うようにいかない日々が続いています。

そんな中でも電気工事業というライフラインに直結した仕事に携われたことに感謝しかありません。多くの方々に電気工事のノウハウを教わり、助言して頂いたお陰様で自営業者として20年になりました。

今では地域の皆さんに頼りにして貰い平凡ではありますが何不自由ない生活ができてることが何よりです。

私事ではありますが子育てもひと段落した今、地域社会に貢献できるように取り組んでいきたい、思っております。

最後に皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

(昭和37年10月17日生 59歳)



株式会社河智電機
河 智 淳

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

早いもので、今年で48歳、4度目の年男を迎えることになりました。

20歳から電気工事の仕事に携わることになりましたが、月日の流れは早いもので、今年で、28年目を迎えることになりました。

今までに、いろいろな人から、たくさんのお話を学ばせていただき、助けていただき、今日があると思っています。

ここ数年、新型コロナウイルスの影響で、仕事やプライベートにも、いろいろと影響が出てきていますが、これまでに世話になった方々、またこの先、出会いお世話になる方々に、感謝の気持ちを忘れず、仕事もプライベートも頑張っていきたいと思います。

まだまだ未熟者の自分ですが、皆様方のお力添えをいただき、この先精進していきたいと思しますので、これからも宜しくお願い致します。

最後になりますが、組合員の皆様方のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

(昭和49年10月17日生 47歳)



(有)藤井電気商会
佐 藤 進 剛

新年あけましておめでとうございます。

この度、年男として今年の誓いをと依頼され、時が経つ早さを実感しております。外見や体力的に年相応な変化を感じると同時に、内面があまり変化していない事を痛感している次第であります。

昨年は各所でのイベントが縮小・中止となったこともあり、当たり前にあるはずの楽しい話題が少なかったような気がします。今年はコロナウイルス感染症の終息・マスク生活からの解放・各行事の再開を期待しつつ、明るい話が出来よう様々なことに積極的に取り組めたらと感じております。

今年の干支の壬寅とは、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということらしいです。良い変化を生み出す為にも、寅の如く威勢よく頑張っていきたいと思します。

最後になりますが、皆様方にとりまして素敵な年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

(昭和49年12月13日生 47歳)

能登本部



良川電機

栗山敏雄

新年あけましておめでとうございます。

高校卒業後、18才から働き始め幾つか職業を変え、はや今年で72歳になります。

電気工事の職業に就いたのは確か38才からではなかったかと思うので、この仕事に就いてはや今年で34年になろうかとしています。早いものです。

早いものと言えば、テレビで見たのか本で読んだのかは分からないのですが、

大人の1年の経過の感覚は子供の3倍の速さだとか。確かに自分に当てはめてみても、そのような感じに思えます。なぜかと言えば、子供は大人の3倍の物事を考え、大人は色々と考えているように、子供の3分の1程しか考えていないとか。それで子供は1年の長さが長く感じ、大人は短く感じるのだとか。

私にしては、そんなものかと思うのですが。こう思うのは、やはり歳なのか。

何はともあれ、これからも歳を考え、ドッコイショと声を掛けながらやって行こうかと思えます。

(昭和25年5月5日生 71才)



山形電器照明

山形栄一

新年あけましておめでとうございます。

今年で気づけばもう48歳になりました。

コロナ禍の中、様々な行事の中止などで、なかなか参加出来ずじまいでしたが、今年こそはコロナ消滅、景気回復など良いことがありますようにと願いつつ、健康第一で頑張りたいと思います。

最後に皆様もご自愛くださいますようお願いいたします。

(昭和49年5月6日生 47歳)



坂室電機(株)

坂室幸志

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年は寅年という事で、気づけば4度目の年男になります。

電気工事業界も近頃は銅単価や原油の上昇により資材価格等が高騰している状態であり、また半導体不足等により照明器具や電気機器の納期が大幅に遅れるような状態になっています。そして本格的な少子高齢化により電気工事業界の人手不足も益々拍車が掛かっている状態です。

コロナ禍・資材価格高騰・半導体不足・人手不足・働き方改革等、今年は大きな問題を乗り越える為の大改革の年になるように感じています。この困難をチャンスと捉えて、この困難を乗り越えこれからの時代に合った電気工事業の在り方を今年は模索していきたいと思っています。

最後になりましたが、本年も皆様方の益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

(昭和49年7月14日生 47歳)



加南本部



(株)ヒカリ
山本 修

新年明けましておめでとうございます。

弊社が設立した年に私が生まれたとの事で、もの心ついた頃から「電気工事」の環境で育ち、その時代の従業員と一緒に会社を受け継ぎ、現在は三代目の愚息の時代になっています。

なんとかここまで続けてこられたのも工事組合での皆様との関わり合いが糧となり大きな支えであったと感謝しております。青年部・総代時代の先輩・同輩の方々との交流が今懐かしく感慨深く思い出されます。

今後は健康に留意し、趣味を楽しみ、なるべく迷惑をかけない様に過ごしたいと思っています。

末筆ながら組合員皆様のご健勝を御祈念申し上げます。

(昭和25年11月18日生 71歳)



秋田電気工事(株)
秋田 順 孝

あけましておめでとうございます。

本年は寅年で還暦を迎えます。厄年ということで健康に気を付けて1年を過ごしたいと思います。

電気工事を始めて35年になりますが、まだまだ分からないことばかりで日々勉強の毎日です。

少し落ち着いていますがまだ、コロナ禍であり、いろいろな活動が制限されておりますが、ウィズコロナの生活に慣れながら楽しく過ごしたいと思います。

本年も皆さま宜しく申し上げます。

(昭和37年5月25日生 59歳)



(有)北西電気商会
北西 弘 衛

皆様、新年明けましておめでとうございます。

私は今年60年に一度の壬寅(みずのえとら)の年男で、還暦という大きな節目を迎えています。

今更ながら家族や仲間の支えによって今日があると実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

新年を迎えて、「家族」「仕事」「地域」などの多くの人との繋がりや関わり合いを大切に楽しく充実した1年を過ごしていきたいと思っています。

(昭和37年7月25日生 59歳)



(株)谷本電機
谷本 真 人

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

今年是一年男ということで私自身チャンスの年と思っています。昨年は年男前の反省の1年として、自分自身を振り返り、見つめ直した年でした。ちなみに見つめ直したことが多すぎストレスとなり太ってしまい残念な体型となりましたが、本年は何事に置いてもチャレンジし、チャンスに結び付けて行きたいと考えています。

仕事面では、これまで以上に知識力・技術力・戦力を強化し、ハイブリット型施工を目指し、生産性・品質を向上したいと思います。

遊び面では趣味は特にありませんが、好きな旅行、美食巡り、夜のパトロールと楽しみたいと思います。

今年一年を仕事・遊びにと充実した年にしたいと思います。

(昭和49年10月3日生 47歳)

令和3年度 北陸電力送配電(株)社長表彰

◆20カ年無事故無災害表彰受賞

〈金沢本部〉



宮島電興(株)
代表取締役
宮島 邦光氏

昭和21年4月に宮島電気商会を個人創業、その後、平成元年5月に宮島電興(株)に法人化し現在に至っている。同社は、北陸電力送配電(株)内線工事施工者、北陸電力送配電(株)のeドクター認定店として一般用電気工作物・自家用電気工作物の設計施工を現在まで75年間の永きにわたり多くの工事実績がある。また、オール電化展示会にも積極的に参加しオール電化普及に努めた。事業主の宮島邦光氏は、人格円満にして常に従業員と融和を保ち、現在も安全作業に尽力している。

同事業所は、電気保安確保と安全作業、施工品質向上を経営の最重点に掲げ、従業員の教育、免許資格取得、安全教育に積極的に取り組んでいる。また、内線工事研究会など関係団体主催の研修会や講習会にも積極的に参加するとともに、新技術を先取りし新分野にも熱意を注ぎ事業拡大を図る

等健全な発展を続けている。創業以来、無事故無災害を継続しており、お客様の信頼度も高い。これらに対して、中部通商産業局公益事業北陸支局、北陸電気協会(2回)、北陸電気工事組合連合会より無事故無災害優良組合員の表彰を受賞している。

事業主の宮島邦光氏は、平成21年5月から石川県電気工事工業組合総代、理事(金沢本部西部支部長)を務め旺盛な熱意と卓越した指導力で、組合の発展と組合員の指導育成に尽力された。現在も組合総代として活躍している。前事業主である宮島熙氏も平成4年から10年間にわたり石川県電気工事工業組合総代・理事・監事を務めた。

一方、地域においては、毎年実施している電気使用安全月間行事での街路灯点検清掃はじめ井戸ポンプ設備点検、防災無線点検等ボランティア活動、エネルギーを考える会に積極的に参加している。また、金沢市ESCO事業では、北塚町町の街灯LED化工事を実施し現在も維持管理を行っている。



令和3年度 北陸電気工事組合連合会長表彰

◆10ヵ年無事故無災害優良組合員表彰受賞

〈金沢本部〉



安井電気工事(株)
代表取締役
安井 健一氏

永年にわたり無事故を継続し、かつ電気保安確保に努めている。代表者の安井健一氏は、石川県電気工事工業組合総代、金沢本部外線部長として組合員の指導及び業界の発展に尽力している。



米沢電商(株)
代表取締役社長
中村 栄太郎氏

永年にわたり無事故を継続し、かつ電気保安確保に努めている。代表者の中村栄太郎氏は、石川県電気工事工業組合総代、金沢本部青年部長として青年部員の指導及び業界の発展に尽力している。

〈能登本部〉



(有)若葉電気商会
代表取締役
薄井 春雄氏

同事業所は、北陸電力送配電(株)の引込線工事施工者として、安全作業を第一に施工品質の向上に努め無事故無災害を継続している。

代表取締役の薄井春雄氏は、平成23年度から現在まで当組合総代、平成27年度から理事能登本部輪島支部

長として組合員の指導及び業界の発展に尽力されている。

また、能登本部では電設保守担当部長として常に安全意識の高揚を呼びかけ、安全部長と協力し、作業安全面・自主安全活動に積極的に取り組んでいる。



藤井電気工事(株)
代表取締役
藤井 正一氏

同事業所は、安全管理に留意し永年に亘り無事故無災害を継続している。

代表取締役の藤井正一氏は、昭和55年度から平成14年度まで当組合能登本部

技術部会員として主に電気工事士受験準備講習会の講師として若き作業従業員

に熱心な指導で教育に尽力され優秀な成績を収めている。

また、安全面に於ても主に木建工建築連合会のパトロール員として作業安全面、自主安全活動に積極的に取り組み、その実績により中部近畿産業保安部などより表彰を受けている。

〈加南本部〉



山口電設(株)
代表取締役
山口 尚彦氏

同事業所は、北陸電力送配電(株)の外線工事施工者として安全作業を第一に施工品質の向上に努め無事故無災害を継続し他の模範となる優秀な事業所であります。

加南本部では、平成27年総代就任と同時に災害対策委員長、平成29年からは配

電災害対策委員長、さらに令和元年からは安全委員長を兼務し、配電委託業務を中心とする事業活動や運営に尽力しながら役員として同本部事業全般の活性化に寄与しています。



(有)川向電機商会
代表取締役
川向 尊氏

同事業所は、安全作業を第一に施工品質の向上に努め無事故無災害を継続し他の模範となる優秀な事業所であります。

加南本部では、北陸電力送配電(株)の引込線工事施工者として配電委託業務や作業安全に関する事業の活性

化に寄与しています。

令和3年度 石川県優良建設功労者知事表彰

〈加南本部〉



松本電機(株)
代表取締役
松本 賢一氏

松本賢一氏は平成3年に先代の経営する同社に入社して以来、永年に渡り電気工事業の技術者として自己研鑽に励み技術を育みながら、多くの工事現場に係わることで他業種の技術者からも信頼を得て建設事業全般に対して多大な貢献をし

ています。

石川県電気工事工業組合においては、平成18年

には総代に就任し平成20年から現在に至るまで監事を務め組合役員として活躍しています。

一方で北陸電力送配電(株)からの配電委託工事施工者として加南本部において中心的な役割を担い施工技術の向上や安全性の確保・効率化の推進に尽力しながらも小松能美木造建築工事安全対策連絡会の監事も務め地域の建設業の発展に寄与しています。

また、小松市消防団本部分団長など地域における要職も数多く歴任し地域社会の振興発展に大きく貢献しています。

ホームページが新しくなりました

石川県電気工事工業組合

検索



<https://www.dennet.jp/>

●●●●●各本部だより●●●●●

金沢本部

- 10月1日 鳴和電気商会（PDCセンター）計器
取次業務開始
- 10月7日 青年部40周年事業打合せ会議
- 10月12日 無停電1・2級認定教育（新規）
- 10月13日 健康診断（予防医学協会）
- 10月14日 健康診断（予防医学協会）
- 10月19日 健康診断（予防医学協会）
献血（予防医学協会）
女性部発起人会議



- 10月20日 健康診断（予防医学協会）
- 10月22日 新加入者試験
本部役員会
- 10月25日 活線認定（更新）教育



- 10月26日 活線認定（更新）教育
- 10月28日 配電工事技能競技会（富山）
県青年部役員会
金沢青年部役員会
- 10月29日 活線認定（更新）教育

- 11月1日 金沢本部広報部会
- 11月2日 県広報委員会
- 11月4日 監事会
- 11月5日 災害疑似体験
- 11月8日 電気安全安全協力会委員会（電力）
- 11月11日 第34回電気工事業全国大会
（滋賀県大津市）
- 11月16日 計測器照合試験
- 11月17日 常務会
計測器照合試験
- 11月18日 電気安全安全協力会安全教育研修会
（いしかわ総合スポーツセンター）
計測器照合試験



- ESC O委員会
- 11月24日 女性部設立発起人会議
- 11月25日 新加入者教育
- 11月26日 電設部会
広報部会
- 11月27日 第一種電気工事士（技能）講習



11月28日 第一種電気工事士（技能）講習
11月29日 電気安全協力会交差パトロール
県電設委員会
12月2日 北陸連合会安全大会
12月3日 青年部役員会

12月7日 県役員会
12月9日 配電委員会
12月14日 青年部経営講習会
12月15日 内線交差パトロール
県立工業高校意見交換会

能登本部

10月2日 第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会
10月4日 常務会（於：県本部）
10月8日 変圧器再使用打合せ会議
10月12日 1級無停電機材取扱者認定教育（於：県本部）
10月14日 健康診断 80名
10月15日 技術部会会議
10月13日～20日 間接活線工具耐電圧試験
10月20日～22日 羽咋工業高校生インターンシップ受入 6社
10月28日 北陸電気工事組合連合会配電工事安全技能競技大会（於：北電研修センター）
優良作業班長表彰 受賞
桜井電気工事(株) 寺谷 春夫氏
11月2日 広報委員会（於：県本部）
11月4日 監事会（於：県本部）
11月9日 安全協力会委員会（於：北電七尾）
11月10日～24日 高所作業車耐電圧試験
11月11日 電気工事業全国大会（於：滋賀県大津市）
11月17日 常務会（於：県本部）
11月25日 令和3年度中堅社員教育（於：金沢市）

11月27日～12月11日（毎土曜日）
第一種電気工事士試験（技能）受験準備講習会



12月2日 北陸電気工事組合連合会配電工事安全大会（於：富山市）
10か年無事故無災害優良組合員北陸電気工事組合連合会長表彰
受賞 薄井春雄氏（(有)若葉電気商会）
藤井正一氏（藤井電気工事(株)）
12月7日 県役員会（於：松魚亭）
12月9日 電設委員会（於：県本部）
12月15日～17日 仮設開閉器本体・ケーブル耐電圧試験
12月29日 組合仕事納め

加南本部

10月5日～6日 定期健康診断(生活習慣病健診)
293名受診

10月11日～13日 計測器・トルクドライバー校正
試験 小松支部：53社

10月11日～13日 活線防保護具耐圧試験（内線施
工者）

10月12日 配電無停電機材取扱者1級・2級認定
教育

10月12日～14日 仮設開閉器耐圧試験

10月16日 第73回北電工組親睦ゴルフコンペ
17名参加 片山津ゴルフ倶楽部西コース

10月19日 安協 研修会 23名参加
フルハーネス型墜落制止用器具の運用
について
高所作業者使用不可箇所における高所
作業足場の使用方法について

10月20日 第2回執行部会
組合運営諸般について

10月25日～29日 安協 内線施工者事業所訪問
フルハーネス型墜落制止用器具の着用
義務化について
低圧ゴム手袋着用の徹底について

10月27日 役員奉仕作業 17名参加



10月27日 SDGs 勉強会 16名参加
講師：小松市環境推進課職員



10月27日 第2回役員会
組合運営諸般について



10月28日 連合会 配電工事安全技能競技会
引込線工事の部：北西電気

11月1日 小松支部世話人会

11月5日～12日 高所作業車耐圧試験

11月8日～12日 圧縮工具圧力試験

11月8日 令和4年度電気保安功労者
中部近畿保安監督部長表彰候補者実態調査
東本電気㈱

11月9日 安協 災害疑似体験研修 8名参加



12月6日～9日 4回

第一種電気工事士技能試験講習

12月7日 内線施工者昇柱訓練

12月8日 外線施工者班長会議

12月10日 小松支部地区別合同懇談会
ホテルビナリオ KOMATSU セントレ

12月15日 内線工事特別安全パトロール
加南本部管内 能登本部パトロール員
加南パトロール員 金沢本部管内パト
ロール

12月29日 組合業務仕事納め

ホームページが新しくなりました

石川県電気工事工業組合

検索



<https://www.dennet.jp/>

●●●●● 青年部だより ●●●●●



県青年部長

安 部 良

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては穏やかな初春をお迎えることとお慶び申し上げます。

日頃より青年部活動に対して多大なるご支援ご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

昨年の青年部の活動としましては、12月15日に県立工業高校との意見交換会をさせて頂くことが出来ました。まだコロナ禍での開催ということで感染症対策を徹底し、電気工事業界の未来の為にとても有意義な会になりました。参加して頂いた皆様、改めて感謝申し上げます。

また12月12日から25日のクリスマスシーズンに「プロテクト THE オーシャン」というイベントの一環で、県青年部としてツリーのイルミネーショ

ン設置、点灯に参加させていただきました。

加賀市の竹の浦館での開催ということで、設置を含め加南青年部の皆様には多大なる協力を頂きました。おかげさまで素晴らしいイベントになり本当にありがとうございました。

今後も3本部の青年部と一緒に協力し、絆を深められるような企画やイベントに参加していきたいと考えております。

最後になりますが、旧年中はまだまだコロナ禍という事もあり青年部活動が思うように出来ない事もありましたが、これからも県青年部は前を向いて「ONE TEAM」となり挑戦し続けていきたいと思っております。



●●●●●各本部青年部だより●●●●●



金 沢本部

青年部長

中 村 栄太郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

金沢本部青年部は昭和47年7月に設立し、創立50年を迎えました。これも業界発展のため力強く行動されてきた先輩方のおかげです。感謝申し上げます。また、コロナ禍の中活動に参加していただいた青年部員の力添えに感謝します。

昨年より、スローガン「Next Challenge」～自ら考え、自らチャレンジできる人財へ～を掲げ青年部活動を実施しています。コロナのせいにならず、やるべき事、やれる事を考え、様々な事に活発に活動出来たのではないかと思います。

役員会はリモート参加が可能なハイブリット形式とし、Googleドライブ等も活用した時代に合わせた会議を実施、多様な意見を取り入れる事が出来ました。

昨年、印象に残った活動は

- ・街路灯清掃のPR動画を作成し、組合HPで公開した事。
- ・高校生ものづくりコンテスト電気工事部門で県立工業の生徒を指導した事。

特に、ものづくりコンテストについてですが、生徒が目を見ながら「全国大会に出たい」と言葉に出しながら練習に励んでいた様子が印象的でした。惜しくも全国大会に出場する事は出来ませんでした。青年部員が指導した事をスポンジのように吸収し、技術を向上させ、自分のものにしていく様には感動しました。

業界発展のため、電気工事の魅力を知ってもらう事が、改めて必要だと感じました。

本年も青年部員の横のつながりを大切にし、活動を実施していきます。引続き青年部活動にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



能 登本部

青年部長

薄 井 克 弘

新年あけましておめでとうございます。

組合員皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのお力添えいただき誠にありがとうございました。

コロナが流行して2年が過ぎようとしています。いつ終息するとも分からず、皆様におかれましては公私共に多大な影響がありましたことと思います。

能登本部青年部におきましてもエレキスクールが中止になり、残念に思っていました。コロナ禍においても何か地域貢献が出来ないか、青年部員と相談しエレキスクールの開催予定でありました穴水町様のご協力のもと、穴水町の2小学校への衛生用品の寄贈を行いました。寄贈の際、能登本部長並びに輪島支部長にも出席頂きまして感謝申し上げます。コロナ禍においても総会やエレキスクール代替事業が開催出来ました事は大きな前進だったと思います。

本年は、県青年部40周年の節目の年です。金沢本部、加南本部の青年部と一致団結して記念事業の準備を進めています。コロナが落ち着いて記念事業が無事開催出来ますことを願っています。最後になりましたが、能登本部青年部一同、更なる青年部活動の向上に努めて参りますので、今後とも変わらぬご指導ご支援のほどお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



加南本部

青年部長

山本 威

新年、あけましておめでとうございます。

組合員の皆様、そして関係者の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスがおさまらず、仕事の仕方や業務形態そして青年部活動にも大変なご苦勞をお掛けしましたが、皆様の多大なるご協力を得ることができ、無事に新しい年を迎えることができました。

昨年も当初予定していた青年部事業の多くが中止となりましたが、5月には第二種電気工事士準備講習会を開催しております。今回、今までのように担当委員会を設けず青年部員全員で参加・協力するという体制で開催しました。今回のこの試みで青年部員1人ひとりが改めて電気工事業への誇りを持つことだけではなく意識の向上を再確認することができました。

今年はこの青年部事業に限らず様々なことに、確固たる誇りとより高い意識を持って挑戦しながらも、同じ志を持った仲間達と楽しんで活動していきたいという所存であります。

最後になりますが、今年も皆様と一日でも早く明るい話題を共有できるように、そして、この新しい年が組合員の皆様、関係者の皆様そして我々青年部員にとって、より良き年になるよう心より祈念致しまして私からの新年の挨拶とさせていただきます。



ホームページが新しくなりました

石川県電気工事工業組合

検索



<https://www.dennet.jp/>

第34回 電気工事業全国大会 (関西・滋賀大会)

昨年11月11日、滋賀県大津市のびわ湖大津プリンスホテルで開催された。今大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場定員の半分である500名以内に限定して実施した。会場に来られなかった組合員向けにはYou Tube Liveを活用し、全国配信を行った。(大会決議は22ページ参照)

午前中は第5回優良事業工組表彰として、全国各地の素晴らしい発表があり、今後の組合活動の参考としたい。午後からは、大会式典として、来

賓祝辞、優良事業工組表彰などが行われた。

また、第4回電気工事技能競技全国大会(令和4年12月1日 横浜アリーナ)及び第35回電気工事業全国大会(令和5年 東北・福島大会)の開催案内があった。なお、第4回電気工事技能競技全国大会からは選手枠が拡大され、工組から少なくとも1人の出場することが出来る。我こそ!という方は検討いただきたい。来年度早々には開催要綱が発表される見込みだ。



第34回電気工事業全国大会 大会決議

古来、近江を制する者は天下を制すと称され琵琶湖の鮎は外に出て大きくなるということわざに代表されるように全国各地に進出してきた近江商人その勤勉性は商業で栄えるだけでなく地域の発展におおきく寄与してきました昨今は環境先進県として注目を集めていますこのたびここ滋賀県において「絆を深め業界の発展につなげようびわ湖の風に乗せて」をメインテーマにサブテーマに「インフラの要を担う電気工事業広げよう高めようそのやりがいを」「コロナに負けるな一致団結で今こそ示そう我々の底力」を掲げコロナ禍の中第34回電気工事業全国大会を関係の皆様のご協力により開催できましたことを心から感謝申し上げます

近年地球温暖化による自然災害が多発する中でインフラを担う業界として災害時の復旧活動に全力を挙げなければなりません

折から国民の快適な暮らしの源泉である電力供給に係る第六次エネルギー基本計画が閣議決定されました

いつの時代も資源の乏しい我が国においてエネルギーの安定確保のためエネルギーセキュリティ地球温暖化対策などは業界挙げての必須の課題であります

ここに全国から集った組合員青年部員の総意として

次の通り決議いたします

- 一 DX化に先行する技術者の育成強化を図りお客様から信頼して任せられる電気技術者集団をめざす
- 一 業界の新しい働き方を実現しインフラの要を担う電気工事業界の発展繁栄に向け正しい市場作りをめざす
- 一 コロナ禍後に確実に進化し地域社会とともに歩む業界をめざしスピード感を持って各種事業を具現化する

以上関係行政並びに諸団体関係企業に対し一層のご指導ご支援をお願い申し上げます我々組合員は広く社会の付託に応えるため一歩先を実行する強い組織と結束を目指すことをここに決議する

令和3年11月11日

全日本電気工事業工業組合連合会

第34回電気工事業全国大会

新加入組合員の紹介

《金沢本部》

【事業所名】北陸冷暖設備株式会社



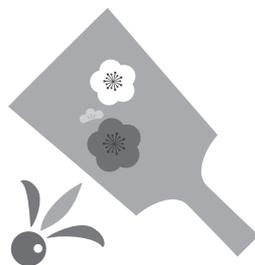
- 所属：
金沢本部犀川西支部
- 加入日：
2021年11月5日
- 事業所名：
北陸冷暖設備株式会社
- 住所：
金沢市泉本町6丁目87番地

■代表者名：西川 晋平

■従業員数：11人

■主な事業内容：電気工事業、機器の販売及び修理、ご提案、自動制御工事

■コメント：電気工事業を主に、オール電化工事、自動制御工事を積極的に展開し温暖化対策として省エネ化、効率化を実現させ地域に貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2021年7月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病気補償)【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約のため保険料が一般で加入するより**割安**です(50事業者以上加入の場合15%割引適用)。
2. 従業員の方々からの**個別健康告知は不要**です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出し、保険料は**全額損金処理**できます。

※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は全額が損金扱いになります。
(法人税基本通達9-3-5,9-3-6の2を準用 2021年7月現在)

こんな場合に
保険金をお支
払います。



職場に向かう途中のケガ



仕事中のケガ

任意労災制度の特長

1. 地震もしくは噴火またはこれらによる津波によるケガを補償します。(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
2. 万一の訴訟・高額賠償に備えて！「**使用者賠償責任補償**」
 - ① 労災高額判決・和解金などに**最大5億円**まで対応できます。
 - ② **弁護士費用等**の訴訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧いただくか、取扱代理店・扱者またはAIG損害保険にお問い合わせください。

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目)自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社



AIG損保

AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号:D-005354(2022-07)

全日電工連認定損害保険制度の概要

全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

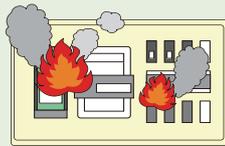
物への補償

人への補償

ご自身の損害

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなられた。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

第三者の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし、通行人にケガをさせた。

全日電工連の生命保険

グループ共済制度

病気 災害
業務外 業務上 **24時間保障!**

加入年齢範囲の拡大!

経営者おすすめコースの設置!

制度の推進を
承っております
事務幹事会社
住友生命より、
訪問の上、詳しい
説明をさせていただきます
いております。

2022年度版(概算掛金) 全日電工連の生命保険 (災害保障特約付 団体定期保険[契約概要・注意喚起情報])

本パンフレットをご一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください

全日電工連 グループ共済制度のご案内



**手頃な掛金で
充実の保障!!**
従業員の皆様が安心して働けます。



**経営者が万が一の時に
事業承継にも役立ちます** 頼りになります!

「経営者おすすめコース」は70歳まで
最高3000万円まで新規加入・増口ができます。
ご加入されると71歳から80歳までも
最高2000万円まで自動更新できます。

全日本電気工業労働組合連合会
〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL 03-5232-5861 FAX 03-5232-6855 E-MAIL: zennichi@znd.or.jp

手続きや制度内容のお問い合わせは **0120-307282**
右記にご連絡ください。【受付時間】 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時(祝日・12月31日～1月3日を除く)

本パンフレットは次回更新日まで大切に保管してください。 品名コード 102-251 CG2021-0371

※ご加入にあたっては
こちらのパンフレットを必ずご覧ください。



全日電工連グループ共済制度事務幹事会社
住友生命保険相互会社
金沢支社

〒920-8632 石川県金沢市上堤町1-18
住友生命金沢上堤町ビル7F

TEL 076-231-1283



CG2021-0468

● 組合事務局日誌 ●

- | | | | |
|-------|-------------------------------|-------|--------------------------------|
| 10月4日 | 常務会 | 18日 | E S C O委員会 |
| 12日 | 無停電機材認定教育 | 24日 | 企画委員会 女性部発起人会議 |
| 14日 | 高圧・低圧電気取扱特別教育 | 25日 | 中堅社員教育 (北陸電気工事組合連合会) (~26日) |
| 15日 | 高圧・低圧電気取扱特別教育 | 29日 | 電設委員会 |
| 19日 | 企画委員会 女性部設立発起人会議 | 12月2日 | 配電工事業者安全大会 (北陸電気工事組合連合会) |
| 21日 | 取締役会(株全日電工連総合サービス) | 7日 | 役員会 |
| 22日 | 新規組合加入申込者面接 | 8日 | 企画委員会 (石川県中小企業団体中央会) |
| 28日 | 配電工事安全技能競技会 (北陸電気工事組合連合会) | 9日 | 配電委員会 |
| 11月2日 | 広報委員会 | 10日 | 三役会議・理事会(全日電工連) |
| 4日 | 監事会 | 15日 | 内線工事特別安全パトロール |
| 10日 | 理事会(全日電工連) | 29日 | 仕事納め |
| 11日 | 第34回電気工事業全国大会 (関西・滋賀びわ湖大会) | | |
| 17日 | 常務会 | | |

組合HPリニューアル



かねてより制作を進めておりましたホームページのリニューアルが完成致しました。組合員の皆様にとっても使いやすい、便利な機能があるホームページを目指し制作致しました。ご活用いただければ幸いです。

- ・ Google カレンダーを導入し、各本部スケジュールも表示。
- ・ 引込線工事施工区域検索機能を新たに設置。
- ・ スマートフォンにも対応し、どんなデバイスからでも見やすくなりました。

URL (<https://www.dennet.jp/>) は変更ありません。



こうほう 第 154 号

発行 2022年 1月 1日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



届けるのは、 北陸を愛するエネルギー。

暮らしによりそい、電気をお届けしつづける使命とともに
未知の領域に、勇気を持って挑んでいく。

一人ひとりの熱い想いが、電気の流れる「道」をつくる。

未来へ、めぐらせる。

 北陸電力送配電